

各位

2025年4月7日  
石塚硝子株式会社

# 工場排熱を活用したコーヒーの試験栽培を開始

— 持続可能な美味しいコーヒーを地域と共に —

石塚硝子株式会社（本社：愛知県岩倉市、代表取締役 社長執行役員：石塚久継、以下「石塚硝子」）は、ガラスの溶融工程で発生する排熱を利用したコーヒー豆の国内試験栽培という、異業種ならではの挑戦を開始します。この新しい取り組みは、社内課題である工場内の未利用熱を価値へと転換し、社会課題である持続可能性の推進及び将来にわたるコーヒー供給の安定化に寄与することを目的としています。

## ◆当社の取り組み：工場排熱を利用した温室でのコーヒー試験栽培

コーヒーは寒さに弱く、冬に気温が氷点下となる日本では沖縄など一部地域を除き、屋外での越冬が困難です。石塚硝子は、これまで有効な利用方法が限られていた約 300°C の工場排熱を有効活用し、コーヒー栽培に最適な温室環境を構築することで課題解決に貢献するため、コーヒー豆の試験栽培を開始します。今回の取り組みを通じて、排熱を利用した持続可能な生産方法の確立を目指します。



本件は 2025 年 3 月より開始され、排熱利用の有効性確認、3 年以内での安定した収穫量の確認、栽培条件の確立、最適な品種の見極め、事業性の検証を目指しています。この挑戦は、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献すると共に、地球温暖化対策としても重要な役割を果たします。

## ◆背景：“工場排熱の有効利用”と“コーヒー生産を取り巻く環境と課題”

近年の気候変動はコーヒー豆の主要生産地域における栽培環境に影響を与えており、将来的な生産量の不安定化を招く要因の一つとして懸念されています。（いわゆる「コーヒーの 2050 年問題」として、気候変動による栽培適地の減少を指摘する研究報告もあります。）さらに現地での人件費や肥料の高騰等

の問題もあり、安定したコーヒー供給のためには、気候変動への適応策を含め、多様な環境下で持続可能な生産体制を構築していくことが求められています。

ガラスの溶融炉は24時間稼働で安定した排熱の供給が可能です。当社では、この排熱の利用について議論を重ねてきた結果、上記の社会課題にたどり着き、コーヒーに着目しました。安定した環境内で様々な品種のポット栽培を行い、気温や水分、肥料等の栽培条件を適切に制御することで、気候変動の影響のないコーヒー栽培の実現を目指します。

#### ◆SDGsへの貢献

- **目標7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに**  
工場の排熱を再利用し、エネルギー効率の良い栽培環境を作り出すことで、クリーンで持続可能なエネルギーの利用を推進します。
- **目標12 つくる責任 つかう責任**  
エネルギーの再利用や持続可能な生産方法の開発を通じて、持続可能な消費と生産のモデル構築を推進します。
- **目標13 気候変動に具体的な対策を**  
これまで多くを海外からの輸入に頼っていたコーヒーを、国内で排熱を利用した栽培方法を模索することで、気候変動への適応策を提案します。



#### ◆石塚硝子の挑戦：若手・中堅社員によるイノベーション

この取り組みは、社内事業創出プログラムを通じて当社の若手・中堅社員が主体となり、発案されました。起案者は社会課題解決への熱意と社内資源を結びつけ、自由な発想で新たなアイデアを模索した結果、工場排熱を利用したコーヒー豆栽培という、これまでにない挑戦が実現に至りました。

#### ◆今後の展望

石塚硝子は、この試験栽培を通じて得られた知見をもとに、排熱を利用した持続可能なコーヒー栽培技術の確立を目指します。将来的には、この技術を活かして地域社会との連携を深め、例えば、収穫されたコーヒー豆の地元での活用（ふるさと納税返礼品や地元店舗との連携等）や、多様な働き方の支援に繋がるような地域共生モデルの可能性も探っていきたいと考えています。当社はこのプロジェクトを通じて、コーヒー産業の持続可能性向上と、地域社会の活性化に貢献していきます。

#### ◆石塚硝子グループについて

石塚硝子グループは1819年の創業以来、ガラスびん・ガラス食器・プラスチック容器・紙容器・ペットボトル・陶磁器など、「ガラス」や「容器」をキーワードとして広範な事業領域を展開しています。地域に根差した企業としての社会的責任を深く自覚し、技術と素材を活かして新たな挑戦を続け、お客さまと社会に豊かさと安心を提供し続けてまいります。URL: <https://www.ishizuka.co.jp/>

問い合わせ先：石塚硝子株式会社 新事業・機能材料カンパニー イノベーション推進部  
TEL: 0587-37-2762 MAIL: [morozumi@ishizuka.co.jp](mailto:morozumi@ishizuka.co.jp)